

集会宣言

本日、私たちあさり敬一郎後援会並びにとよなかの未来を創造する市民連合（略称：未来ネット）は、あさり豊中市政２期目に掲げた７０項目に及ぶ政策大綱（マニフェスト）の成果について、「市政報告の集い」を開催して、検証を行いました。

あさり市政は、「財政非常事態宣言」が継続される厳しい行財政の下でスタートして以来、「市民本位」の市政運営を貫くとともに、長く続いた日本経済・市民生活の停滞の中で「暮らし第１」をモットーに、豊中に住み、暮らし、学び、働く人々の生活向上と、地域経済の発展を図るための施策を重点的に進めてきました。

とくに、大きな争点となった大阪国際空港の存続問題に関しては、安全で地域環境を損なわないことを原点に、就航都市との連携による活性化と、空港の利点を生かした企業の立地を促進し、府内でも優秀な物づくり産業の集積地となりました。

時代は、行政がすべてを担うのではなく、主体である市民が市政に「参画と協働」できることが求められています。公共の担い手に市民が参画することこそ、市政運営の基本であり、「自治基本条例」の制定とともに、地域で多くの市民が協働とパートナーシップを大切にした、市政への参画が実っています。

混迷と停滞の時期から、社会経済情勢は好転の兆しを見せています。豊中市も財政危機を克服した今日、次の時代に向かって積極的な対応が求められるようになってきました。

過去に経験したバブルのごとく、ひとときの豊かさでなく、乳幼児から子育て・子育て世代、学ぶとともに豊かな感性を育ぐむ青少年、さらには多くの働く市民と、障害をもつ人々と元気で生き活きと価値ある人生を歩む世代のすべての市民が、思いを携え共に進む豊中を築くことが現在、重要な課題となっています。

とりわけ、良質な文化生活環境と行財政基盤を次の世代に継承・発展させることが、今まさに豊中に課せられているといえます。果敢で大胆な市政運営が必要です。

本日参集した私たちは、あさり市政の２期８年の成果を踏まえ、確かな歩みが引き続き、今後とも続けられるよう、大いに期待して本日の集会のまとめと致したいと思います。

この間ご支持・ご声援いただいた多くの市民の皆様に感謝を申し上げ集会宣言と致します。

２０１４年（平成２６）年２月７日

「市政報告の集い」参加者一同